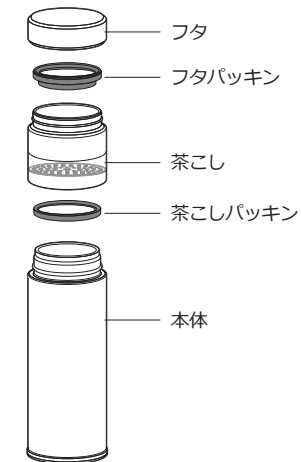


Tea bottle
ティーボトル



●ご使用前に各部品が揃っていることを確認してください

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品をご使用になる前にこの説明書を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解された上でご使用ください。
製品改良のため、予告なしにデザインや仕様を一部変更する場合があります。予めご了承願います。

LALALUCTUSホームページ <http://luctus.jp>

目次

安全上のご注意 1～2
 使い方 3～4
 お手入れ上の注意 5
 パッキンの取付け方 5
 汚れが目立ってきたときは 6
 こんなときは 6
 部品の交換について 6
 仕様 7

仕様

ティーボトル クリーム SE6020-CR	ティーボトル リーフグリーン SE6020-LG	ティーボトル ダークグレー SE6020-DG
定格容量	400ml	
本体寸法	幅 6.5× 奥 6.5× 高 22.7cm	
重量	約 280g	
素材	ステンレス、PP、ABS、トライタン、シリコン	
保温効力	55℃以上（6時間）	
保冷効力	7℃以下（6時間）	
生産国	中国	

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を実用量分まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから6時間放置した場合におけるその湯の温度です
 ※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を実用量分まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です

【お客様相談窓口】
0120-756-021
 月～金（祝祭日を除く） 10：00～16：00
 （12：00～13：00は休止）
 株式会社スマイル
 〒135-0052 東京都江東区潮見2-8-10潮見SIFビル

0001

汚れが目立ってきたときは

茶しぶなどの汚れの場合

- 1、本体にぬるま湯を入れる
- 2、小さじ2杯程度の重曹を入れる
- 3、30分～1時間程つける（茶こしとフタはつけ置きする）
- 4、柔らかいスポンジできれいに洗い、水ですすぐ
- 5、十分に乾燥させる

◆汚れは、お茶などに含まれているポリフェノールなどの成分によるものです

サビのような赤い斑点やザラザラ汚れの場合

- 1、本体にぬるま湯を入れる
- 2、小さじ2杯程度のクエン酸を入れる
- 3、30分～1時間程つける（茶こしとフタはつけ置きする）
- 4、柔らかいスポンジできれいに洗い、水ですすぐ
- 5、十分に乾燥させる

◆汚れは、水の中に含まれているミネラル成分によるものです

こんなときは

症状	原因	対処方法
飲みものが漏れる	フタや茶こしが正しく閉まっていない	フタと茶こしを回らなくなるまで閉める
	パッキンが正しく取り付けられていない	両方のパッキンを正しく取り付ける
	飲みものを入れすぎている	2ページを参照して量を調節する
いやなにおいがする	本体内部やパッキンなどが汚れている	両方のパッキンを取り外してよく洗浄してください

部品の交換について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認の上、お買い上げの販売店でお求めください。

部品名	部品番号
フタ	SE6020△△-P 1
フタパッキン	SE6020△△-P 2
茶こし	SE6020△△-P 3
茶こしパッキン	SE6020△△-P 4

△△表示は部品色柄記号です。
 お求めの際には製品の色柄までご指定ください。

<表示例>色：クリームホワイト 部品：フタ
 SE6020-CR-P1

- フタパッキン、茶こしパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- 各部品のメーカー保有期間は、製造打ち切り後5年間です。

お手入れ上の注意

※お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください

- 使用後は、その日の内に必ずお手入れする
- ぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用する
- スポンジ・布はやわらかいものを使う
- においを防ぐために、こまめにお手入れする



注意

- 煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない
- 塩素系漂白剤は使用しない
- シンナー、ベンジン、金属たわし、研磨剤入りたわし、みがき粉、クレンザーなどは使用しない
- 本体は丸洗いでできますが、つけ置き洗いはしない
- 長時間使わないときは、十分に汚れを落し乾燥させて高温多湿を避けて保管する

パッキンの取付け方

お手入れなどで、パッキンを取り外しする場合は、つまようじなどを使って外す

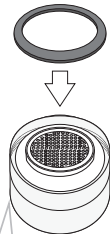
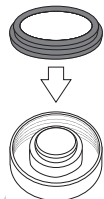
△パッキンを傷つけないように注意



取付け方

フタパッキン

茶こしパッキン



フタの裏面を正しい向きにして、確実に奥まで取り付ける

フタの裏面を正しい向きにして、確実に奥まで取り付ける

<フタパッキン断面図>

<茶こしパッキン断面図>



※正しく取り付けられていないと漏れの原因となります

安全上のご注意

※飲みものの保温・保冷以外に使用しない

【次のものは絶対に入れないください】

■ドライアイス、炭酸飲料など

製品内の圧が上がり、飲みものが噴き出したり、フタや茶こしが開かなくなるなどしてケガや物を汚す原因となる

■みそ汁、スープなど塩分を含んだもの

腐敗や変質、サビの原因となる

■牛乳、乳製品、果汁など

腐敗や変質、サビの原因となる

そのまま長時間放置した場合、腐敗によりガスが発生し、製品内の圧力が上がり、飲みものが噴き出したり、部品破損などしてケガや物を汚す原因となる



【熱い飲みものを入れた場合】

❌ お茶出しする時に急に傾けない

また、振らない

●こぼれて火傷やケガのおそれがある

❌ 傾けた状態や顔などを近づけた状態でふたや茶こしを開けない

●こぼれて火傷やケガのおそれがある

❌ 飲み口の温度に十分注意し、本体を急に傾けないでゆっくり飲む

●飲み口が熱くなり火傷のおそれがある

●飲みものが勢いよく出て、火傷やケガのおそれがある



警告

❌ 乳幼児の手の届くところには置かない

また、いたずらには十分に注意する

●火傷やケガなどのおそれがある



❌ ストープやコンロなど火気に近づけない

●火傷や変形・変色の原因となる



❌ 製品にお湯を注ぐ時、ヤカンや注ぎ口をあてない

●転倒して、火傷やケガなどのおそれ、またキズや変形の原因になる

❌ 本体に飲みものを入れる際は、テーブルの端や水平ではない不安定な場所に置いて入れない

●転倒して、火傷やケガなどのおそれがある

❌ フタと茶こしのせんは確実に閉まっていることを確認する

●内容物が漏れて、火傷や物を汚すおそれがある

❌ 落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない

●漏れて火傷や床や家具を汚す原因になる

また、製品の故障の原因となる



❌ 分解や修理はしない

●故障や事故のおそれがある

❌ 自動車走行中は使わない

●火傷のおそれ、車内・衣服を汚すおそれがある

❌ 食器洗浄機・食器乾燥機は使わない

●熱により部品が変形し、漏れて火傷やものを汚すおそれがある



❌ 電子レンジに入れない

●金属部がスパークして電子レンジが故障する原因になる

また、熱により部品が変形し、火傷やものを汚すおそれがある

❌ 冷蔵庫に入れない

●故障や事故のおそれがある

❌ 塩素系漂白剤は使わない

●製品の塗装が剥がれや変質、サビの原因となる

❌ 本体の真空二重構造の中から水の音がする場合は使用しない

●本体内部に飲みものがしみ出て体調不良の原因となる

❌ 茶こしを本体につけた状態で茶こしを持って運ばない

注意

❗ 飲みものの量は図の位置までにする

●入れすぎると、漏れだしたり、あふれ出る原因となる

●製品内が変形して、故障や漏れの原因となる



❗ ふたと茶こしは斜めにならないように正しく確実に閉める

●斜めに閉めるとフタが外れてケガや火傷のおそれがある

❗ 2つの専用パッキンを正しく取り付ける

●漏れて火傷やケガのおそれがある

❗ 持ち運ぶときは、フタと茶こしを確実に閉めて漏れないことを確認してから使用する

●漏れて火傷やもの汚すおそれがある

❗ 飲みものはその日のうちに飲む

●腐敗の原因になる。また、長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、製品内の圧力が下がり、飲みものが吹き出たりするなどの恐れがある

❗ 飲みものが、漏れないことを確認してから使用する。また使用後は必ず洗う

●漏れて火傷やものを汚すおそれがある

❗ バッグなどに入れるときは、万一の漏れや結露を防ぐために製品を縦に入れて

●漏れて火傷やものを汚すおそれがある

❗ パッキンが確実に装着されていることを確認する

●飲みものが漏れ、ものを汚す原因となる。パッキンの取り外しの際には紛失及び未装着に注意する

❗ パソコン、デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ばない

●万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因となるおそれがある

❗ 飲む際は飲料の温度が適温であることを確認しゆっくり飲む

●二重構造のため外側は熱くならない、また飲み口が熱く火傷する恐れがある

❗ ひも付きのティーバッグはひもを外して使用する

●茶こしに装着した状態で口から飲まない

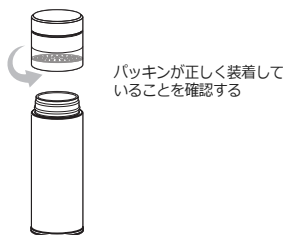
●茶こしに残った茶葉等によって火傷などの恐れがある

●茶こしを取り外す際、お湯が垂れることで火傷する恐れがある

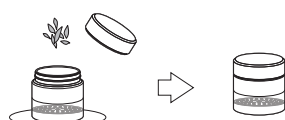
使い方

※初めてご使用になる際は、各部品をよく洗ってご使用ください

1 本体から茶こしを取り外す



2 茶こしからフタを開けて、茶葉を入れる入れたらフタをしっかりと閉める



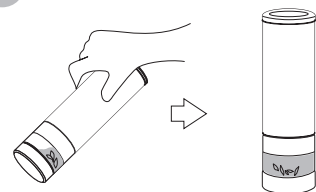
3 本体にお湯又は水を注ぐ



4 茶こしを本体に取り付ける



5 ゆっくりと逆さまにしてお茶を抽出する



水漏れした場合は、すぐに使用をやめる

6 好みの濃さになったら、またゆっくり元に戻す

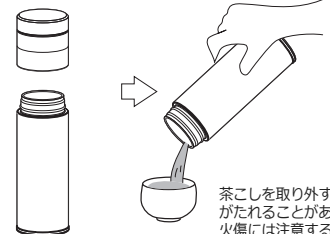


●ゆっくり元に戻さないと茶こしの中のお湯が本体に落ちない

※元に戻しても茶こしにお湯が多く残っている場合は、茶葉がフタをしている可能性があるため、斜めに傾け茶葉の間に隙間を作りお湯を落とす

飲むとき

●茶こしにフタが装着された状態で茶こしを取り外す



注意

茶こしをのフタ開ける時は、茶こし内にお湯が少し残っているので、こぼれ落ちるお湯に注意

●熱湯による火傷のおそれがある

熱い飲みものを入れた場合は、コップへ注いで飲みものを飲む

●熱湯による火傷のおそれがある

本体に口をつけて直接飲む場合は飲み口の温度に注意する

注意

お湯を入れてすぐに茶こしを取り付けない

●内圧が上がり、フタが開かなくなる、又は本体が破損しお湯がこぼれて火傷やケガのおそれがある